



社会福祉法人 村 山 苑

村山苑だより



▲埼玉県日高市中着田にて 柴田嗣雄氏 提供

「社会福祉法人に求められるもの」

理事 相原 弘子



平成二十八年三月三十日に成立し公布された改正社会福祉法では、社会福祉法人制度において、そのガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域における公益的な取組みを実施する責務、そして行政の関与の在り方の5つの改革が示され、戦後の社会福祉事業を担ってきた社会福祉法人のあり方が大きく変わろうとしています。社会福祉法人は、旧社会福祉事業法に基づき、主に措置事業を担う公共的な性格を有する法人として機能し、社会福祉を支えてきていましたが、介護保険法の施行、社会福祉法の成立によりサービスの利用の仕組みが措置から契約に変わり、株式会社やNPO等多様な供給主体が参入してきたことにより、その位置づけが大きく変化してきました。

近年、人口構造の高齢化や地域・家族の変容によって、福祉ニーズが複雑に絡まり多様化してきています。平成二十五年年度に始めた「むらやまえん生活相談所」では、東村山市内の関係機関と連携しながら制度に繋げる橋渡しや独自に生活困窮者への支援を行っています。見えてくるのは、親の高齢で初めて露見する子の障害や就労課題などです。昨年度、東村山市内社会福祉法人連絡会が市社協を中心に立ち上がり、当法人も参加していますが、こうした課題に社会福祉法人が連携協力する基盤ができたことで、支援の広がりにも期待がもたれます。

村山苑は、責務化された地域公益活動を、前述の活動以外に東京都社会福祉協議会が実施する「はたらくサポートとつきまよう」事業に参加すると共に中間的就労の事業所認定に向けていくことを考えます。「はたらきたいけれど、はたらきにくい人」に対して法人の事業所での業務を切りだして、その人に合ったはたらき方ができる場の提供です。今年度雇用した障害者の支援体制が応用できます。法人で委員会を立ち上げることで、全職員に理解を求めながら進めます。こうした社会福祉法人に求められていることは、社会福祉法人だからこそできることであり、これまで培った私たちの経験と知恵を集結して取り組んで参りたいと思います。

救護施設の状況について

さつき荘

施設長 田島 博志

救護施設は、社会状況の変化とともにその時々福祉課題に対応してきた実績を持ちます。あらゆる福祉ニーズに対応する救護施設像を明確にし、時代に即した事業展開を行ってきました。

昨今の福祉ニーズは多極重層化し、救護施設に求められる役割も分野種別を問わない広範な取り組みが必須となってきました。折しも社会福祉法人の公益性が問われ、また制度の狭間で困窮する人への支援の必要性が高まってきたこともあり、平成二十五年四月、全国救護施設協議会は社会の要請に応えるべく制度内外の様々な取り組みを目標とした「救護施設が取り組む生活困窮者支援の行動指針」を掲げました。指針では具体的な実施項目を3カテゴリー3フェーズに分類し、それぞれの達成目標を設定、全国に百八十六ある救護施設こそが、幅広い役割を担っていくべきであるという共通認識を持って着実に推進してきました。

平成二十八年三月に行った三年間の

総括によると、全ての項目において取り組み施設が大幅に増加しました。地域特性や施設規模の大小等により「様いかないことも多いなか、努力工夫を重ね各地で多様な事業展開や独自サービスが広がりを見せました。」

一方で、取り組みがあまり進まなかった項目等、今後の課題も見えたことから、全救協にて第2次行動指針を策定し、今年度初めに公表しました。生活困窮者自立支援法の施行も勘案してカテゴリー4を新設し、弱かった就労支援の取り組みを強化しました。とりわけ就労訓練事業に関しては全救護施設が認定を受ける目標を設定しています。各項目は整理表の通りで、今後二、三年間、この新指針をナビとして各施設が精力的に取り組んでいきます。

村山苑の村山荘さつき荘両救護施設においても、一時入所や居宅生活訓練、通所訪問、むらやまえん生活相談所等との連携をはじめ、ほとんどの項目に着手しております。引き続き未実施の各項目（就労支援や学習支援等）の計画的取り組み及び循環型セーフティネットとしての更なる機能強化に邁進していきたいと思っております。



【新】救護施設として取り組むべき生活困窮者支援にかかる事業等について（取り組み期間：平成28年度～29年度）—整理表—				
☆は新規（または一部変更）の取り組み。（ ）の％は、平成27年12月の会員施設全体の実施率であり、各施設は現状以上に事業に取り組むことを目標とする。				
	カテゴリー①	カテゴリー②	カテゴリー③	カテゴリー④
	救護施設の機能として制度化されている取り組み	救護施設の機能をさらに活かす取り組み	地域への公益的な取り組み	生活困窮者自立支援制度への取り組み
フェーズA				
すべての救護施設が必ず取り組む事業	①一時入所事業による緊急保護支援 ②救護施設居宅生活訓練事業による地域生活移行支援 ③循環型セーフティネット施設として機能するため、利用者の地域や他種別施設等への移行促進	☆①地域との連携による包括的相談や支援ネットワークへの参画 【説明】 法人や施設の外にある、何らかの地域支援ネットワークへの参画を指す	☆①地域との交流および施設機能の地域への提供 【例】 ・福祉避難所としての施設機能の提供 ・社会福祉士、精神保健福祉士などの有資格者による地域の障害者や高齢者に対するマンパワーの提供 ・職員等による介護セミナー等の開催 ・その他、法人や施設、その地域の特性を活かしての、さまざまな取り組み	☆①就労訓練事業（いわゆる「中間的就労」）の取り組み（認定を受ける）
フェーズB				
救護施設が現状以上に取り組みをすすめるべき事業	①保護施設通所事業による、地域生活移行者等の生活安定にかかる居場所確保と相談支援（サテライト方式を含む）（50.0%） ②救護施設配置の精神保健福祉士による精神障害者への支援（50.5%） ③サテライト型施設による居場所確保と相談支援機能の強化（10.3%） ◆①～③のうち少なくとも1つ以上の事業を実施	①災害時における被災者等の支援（75.0%） ☆②施設退所者、生活保護受給者への自立支援（就労、家計・生活支援） ③矯正施設出所者等に対する自立支援（54.3%） ④DV被害者等の保護と生活支援（緊急一時保護等）（76.1%） ◆①～④のうち少なくとも1つ以上の事業を実施		☆①就労に向けた生活訓練等の就労準備支援への取り組み ☆②住居喪失者に対し一定期間、衣食住を提供する一時生活支援への取り組み ③家計・生活指導を通じた生活再建の支援（72.3%） ④生活困窮にある子ども世帯への学習・生活支援（8.7%） ◆①～④のうち少なくとも1つ以上の事業を実施
フェーズC				
救護施設が現状以上にさらに高度な専門性を発揮するための事業		☆①救護施設の運営法人による居宅生活移行支援事業（無料低額宿泊所）・この事業に準ずる居宅確保への取り組み	☆①地域の関係施設・機関との協働による全世代対応型の包括的な総合相談支援機能の拠点づくりと地域の支援ネットワークの構築 【説明】 地域における公益的活動の一環として、さまざまな困窮を抱える全世代の福祉ニーズを必要とする者に対し、一次的・包括的な相談機能を有することを想定	☆①地域生活困窮者に対する自立相談支援事業の実施 【説明】 生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業、もしくはそれに類する事業を自主的に設置し運営することを想定。また、これらの事業に職員を派遣して協働で事業展開している取り組みも該当

平成28年4月 全国救護施設協議会「救護施設における生活困窮者支援に関する特別委員会」

平成27年度事業報告について

平成28年5月27日(金)に開催された理事会・評議員会において、「平成27年度事業報告」並びに「平成27年度決算報告」は、下記の通り議決されましたので、お知らせいたします。

なお、本苑の事業報告書・決算書は頁数が相当数に及びますので、その要旨のみを紙上掲載いたします。法人事務局に「平成27年度事業報告書・決算書」がございますので詳細をお知りになりたい方は、事前にお電話で来訪日をお知らせいただければ閲覧していただけます。また、ホームページ上でも公表しております。

平成27年度 事業報告

平成27年度末ぎりぎりの平成28年3月31日に、社会福祉法等の一部を改正する法律が可決成立した。次年度は、社会福祉法人の経営組織の強化、事業運営の透明性の向上、地域貢献事業等への積極的な取り組みをしていかなければならない。村山苑の各施設は周辺の事情を慎重に見極めながら、法人の将来展望を見出す更なる努力に心がけたい。

1. 法人体制及び各施設共通事業

平成27年度は、制度改正等に伴う対応、虐待防止等の取り組みとサービスの質の向上、介護職員及び保育士の人材確保に追われた1年間であった。特に、法人が経営する介護保険事業は、介護保険の報酬改定で大幅な減額改定のうえ稼働率が思うように上がらず非常に厳しい状況にあり、稼働率の向上と業務の効率化に向けて直接職員と意見交換を行った。虐待防止については、改めて全施設での取り組みを検証し、日常業務の中でのマナーチェックを行い、不適切な支援等について率直に話し合える職場環境づくり等をはじめた。

また、「生活相談所事業」は、昨年度に引き続き、地域に周知の輪が広がっており相談件数が増加し、関係機関と連携して支援にあたる事が出来た。東村山市社協が中心になって立ち上がった東村山市社会福祉法人連絡会に加入し、地域貢献活動を検討していくこととなった。

平成27年度は、全国社会福祉協議会で行っているアジア社会福祉従事者研修事業に始めて参加し、7月下旬から9月上旬にかけての約1か月半、フィリピンからの研修生を介護施設、障害施設、救護施設と保育所に1週間ずつ受け入れた。

年度後半には法人本部の人員体制の整備を実施することが出来た。今後更に事務処理の効率化を図っていきたい。また、平成27年度は、2年間の準備期間を経て、給与制度の改正を実現することができた。改正にあたっては、十分な時間をかけ、繰り返し職員に説明したことが、一定の理解に繋がったと思える。

毎年重要課題として挙げている中の、職員確保、育成、定着に関しては、ひよし保育園の開設に伴う保育士の増員確保と介護職員等合わせて24名の新人職員を確保することが出来た。しかし、育成、定着については、次年度以降の課題とした。障害者雇用としては、特別支援学校からの生徒2名を採用した。

2. 介護保険事業

介護保険事業の3施設にとって介護保険制度、介護報酬の影響は大きく、殊に介護報酬の減額は、厳しい経営を強いられる結果となった。目標98%としたハトホーム本体のベッド稼働率はショートと合わせて平成27年度は95.2%と、例年並み(平成26年度95.5%)であったが、欠員が生じてから1ヶ月以内の入所がおおむね達成できるようになったことは、次年度の稼働率に期待できるものである。更に稼働率を上げるには短期入所の利用率を上げることにある。平成27年度に短期入所担当者を専任化したしたが、平成28年度は営業にも力を入れることで稼働率アップに繋がりたい。

ハトホーム本体はサービス面で、介護検討会を中心に接遇、マナー向上、ベッド周りの整理やシーティング(長時間座位を続ける方の心身機能や生活状況を考慮し、良好な座位姿勢を確保するよう調整すること)の向上の取り組みを行った。また、介護現場のタイムスケジュールの見直しの検討を開始し、引き続き平成28年度に業務改善も含め、具体的に検討する予定である。介護検討会の取り組みが行われている中、職員による入居者への虐待(身体的、心理的)が3件発生した。保険者へ虐待発生の経緯と再発防止策として、①定期研修の実施、②「虐待防止マニュアル」の見直し、③苦情及び虐待防止セルフチェックの自己検証と相互検証、④虐待防止についての体制整備などについて報告した。

ハトホーム在宅サービスセンターの通所介護は、平成27年度は1日20名の利用を目標にして活動した。年度当初からなかなか目標に達することが出来ずにいたので、利用率向上に向け、毎月ケアマネ向けの空き情報付の広報誌を市内及び近隣市の居宅介護支援事業所に送付するようにした。また入浴を含め利用者の様々な要望に出来るだけこたえる努力をして、少しずつ利用率向上につながり始めた。しかし、年度利用目標には達せず、年間平均利用者は1日15.3人だった。

ほんちようケアセンターの平成27年度実績は市の委託事業の導入もあり、収入目標の達成には及ばなかったものの、介護保険事業収益は平成26年度実績額に微増の77,157,608円であった。通所介護事業は7.0%の減、居宅介護支援事業は4.58%減、訪問介護事業は16.4%増であった。

利用者の生活と雇用を守り事業を継続することは事業者としての責務であり、引き続き各事業の稼働率向上を目指すとともに、経費節減に努めていく必要がある。介護保険制度の動向を注視しながら、厚生労働省が掲げる基本方針に基づいて、現状のサービス提供内容の見直しを図り、本格的に導入される地域包括ケアシステムについても、近隣事業所や関連機関との連携体制を整え、業務の効率化を図っていきたい。

3. 生活保護施設事業

生活困窮者自立支援法が平成27年4月1日施行された。全国救護施設協議会が示した「救護施設が取り組む生活困窮者支援の行動指針」に基づき、救護施設に求められている利用者への自立支援、地域移行を進め、緊急の受け入れ要請等、各救護施設がどこまで取り組むことができるのかを問われた一年であった。救護施設村山荘とさつき荘では、利用者に対する支援として、服薬、通院等への自立支援、入所中の居宅生活訓練事業、地域生活移行後の通所・訪問事業、地域生活が一時的

に困難に陥った場合の一時入所事業などに取り組んだ。循環型の施設としての機能を果たすべく、利用者の地域生活移行支援、他種別施設への移管に積極的に取り組み、次の生活拠点を確保することで、両施設で合わせて33名の新規入所を受け入れることができた。

利用者の高齢化、重度化等により、地域生活へ移行するには困難な利用者が増えている。地域生活移行が困難な利用者に対しては、利用者の能力や抱えている問題に応じて、身体や精神の健康の回復・維持を図るとともに、自分で健康・生活管理を行うなど、日常生活において自立した生活を送るための日常生活自立支援や、引きこもりにならないように、社会的なつながりを回復・維持ができるように支援を行った。利用者への積極的な働きかけにより、利用者自身が、自立に対して前向きな姿勢が見られ、独自事業として実施している居宅生活訓練事業については、両施設で借り上げたアパート5部屋と生活訓練室で延べ94名、1,688日の実績があった。一時入所については、両施設で延べ25名、331日の利用があり、昨年の実績を上回ることができた。

また、地域における生活困窮者支援のための「むらやまえん生活相談所」と連携し、食事提供、一時入所受入等生活困窮者支援にも取り組んだ。

4. 保育事業

幼年期の学校教育・保育、地域の子ども・子育て支援の総合的な推進を図ることを目的とした「子ども・子育て支援新制度」が平成27年度より本格実施となった。この新制度の立ち上げに伴う大きな混乱は見られなかったものの、各事業所においては、実際の制度運用に係る扱いや各種事務手続きの煩雑さへの対応に追われる一年であった。

そのような中、政府は2月9日、「子ども・子育て支援法の一部を改正する法律案」並びに「児童扶養手当の一部を改正する法律案」を閣議決定、厚生労働省の社会保障制度審議会児童部会でも「保育所保育指針」の改訂に向けての動きなどが加速化する一方、新年度を間近に控えた2月29日、子どもの預け先が見つからないことへの“怒り”をストレートに表現した「保育園落ちた」というひとつの匿名ブログが衆院予算委員会に登場したことで、待機児童問題に対する関心が急速な高まりを見せることとなった。そのような状況を踏まえ、国は「待機児童解消に向けて緊急的に対応する施策について」を取りまとめ、小規模保育所定員や保育士配置基準の規制緩和などの対策を講ずることを公表した。しかしながらこの緊急対策が余りにも規制緩和中心となったことで、「受け皿の拡大を急ぐ余り、保育士の負担が重くなり、保育の質の低下を招くのではないか」との懸念も示されているところである。

東村山市においては新制度の立ち上げに伴い、認証保育所の認可保育所移行や小規模保育事業所への株式会社・NPOの参入による定員拡大等の影響もあり、待機児童数と保育所を含む「施設型・地域型」事業所における児童の「欠員数」との需給関係が“逆転”するという、これまでには想定することができなかった新たな事態が生ずることとなった。また「保・幼・小の接続」ということが重点施策のひとつとして掲げられ、そのための「連絡会議」の発足や、「幼児相談室」と「教育相談室」との組織的統合が図られるなど、子ども・子育てをめぐる環境も大きな変化を見せてきていることから、今後も引き続き、国・東京都・東村山市における制度改革の進捗状況については引き続き十分注視していく必要がある。

このような保育所を取巻く大きな環境変化の下、村山苑保育3園は、事業計画に掲げた「基本方針」並びに「保育所運営方針」に基づき、三保育園の特性を生かしつつ、保育並びに保護者支援を行うことを目標として平成27年度に臨んだ。運営管理については、東村山市の待機児童解消への協力として、前年度に引き続き、つぼみ・ほんちよう保育園が定員を上回る園児の受け入れを継続した。また保育士等の人材確保・育成・定着を図る観点から、法人レベルでの給与制度の改正が実施されたことで、“キャリアパス制度”を基本とした人材育成の第一歩を踏み出すことができた。

また地域における子ども・子育て支援に係る取り組みとして、エリアごとの「子ども・子育てエリアネットワーク会議」に積極的に参加し、地域の子育て世代が必要とするニーズや意向を把握、子育て支援に活用できる情報誌作りにも必要に応じて参加した。

また、平成27年度は平成28年度より民間移管となる「国分寺市日吉保育園」の引継ぎ（運営管理、保育、行事、保護者説明会の開催等）を法人本部・市所管課との連携を図りながら計画的に進めてきたほか、自主運営開始に向けての認可申請、保育士人材確保、諸規程の整備等々を進め、無事新たな第一歩を踏み出すことができた。

5. 障害福祉サービス事業

平成27年度の障害福祉情勢としては、平成25年4月1日に「障害者総合支援法」が施行され3年目を迎えた。社会保障審議会障害者部会では3年間の施行状況を踏まえ、基本的考え方について、1.新たな地域生活の展開、2.障害者のニーズに対するよりきめ細かな対応、3.質の高いサービスを持続的に利用できる環境整備、の3つの柱に整理している。今後はこの結果に基づいて所要の措置が講ずることとなっている。また、27年度は報酬改定の年となっており、4月からは新たな報酬の下でのスタートとなった。

「働く喜びをすべての人に」の目標の下に、平成27年度方針として、①就労継続支援B型における作業時間の短縮による柔軟な支援体制の充実 ②就労移行支援における訓練活動の見直しによる効果的な利用者支援体制の確保 ③各種情報の収集、整理、共有と活用及び職員スキルアップの促進 という3点を掲げ取り組んだ。利用者状況は、障害種別を問わず、知的、身体、精神、発達障害等の利用者を受入れ、利用者延べ人数17,493人、1日当たり平均利用者数69.7人と前年度を大きく上回ることができた。また、登録者数については、定員の80名を超える人数で推移し、年間平均は就労継続B型で69.8人（定員65名）、就労移行で14.2名（定員15名）と昨年実績を上回ることが出来た。事業内容は報酬改定があったが、26年度の各種加算等に関わる支援実績が良好であった事が平成27年度に反映され、支援実績、運営収支ともに安定した状況であり、村山苑障害者計画相談支援室（きせき）の厳しい状況にも対応することができた。就労継続B型については、シチズン時計の内部体制の変更に伴い売上が減少し、平均工賃は目標（32,600円）をクリアすることはできたが昨年度実績を下回る結果となった。就労移行支援についても、年間の一般就職者が5名と昨年を下回る結果となった。この事からも平成28年度の各種加算は減額とはなるが、どちらの事業も全国平均を上回る結果となっている事は評価したい。

村山苑障害者計画相談支援室（きせき）は、当初の計画からも厳しい状況であることは想定されていたが、想像以上に利用契約に結びつかない状況であった。また、2月に担当職員が退職となり実質的な事業活動ができなくなるという結果となった。

また、年間を通して、非常勤職員の退職にともなう補充が思うように出来ず、人材確保が大きな課題となった。

村山苑だより

【法人名】 社会福祉法人 村山苑

(自)平成27年4月1日 (至)平成28年3月31日

資金収支計算書

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
事業活動による収支	収入				
	介護保険事業収入	872,252,000	870,890,428	1,361,572	
	保育事業収入	771,517,000	768,494,128	3,022,872	
	就労支援事業収入	35,886,000	35,878,885	7,115	
	障害福祉サービス等事業収入	168,791,000	168,293,931	497,069	
	生活保護事業収入	678,683,000	678,212,908	470,092	
	医療事業収入	9,207,000	9,079,867	127,133	
	独自事業収入	346,000	345,800	200	
	借入金利息補助金収入	2,838,000	2,835,348	2,652	
	経常経費寄附金収入	3,422,000	3,417,654	4,346	
	受取利息配当金収入	475,000	435,700	39,300	
	その他の収入	19,777,000	20,890,559	△1,113,559	
	事業活動収入計(1)		2,563,194,000	2,558,775,208	4,418,792
支出	人件費支出	1,761,070,000	1,753,130,589	7,939,411	
	事業費支出	337,963,000	330,531,120	7,431,880	
	事務費支出	166,078,000	160,436,524	5,641,476	
	就労支援事業支出	36,771,000	35,228,838	1,542,162	
	社会貢献事業費支出	180,000	137,178	42,822	
	利用者負担軽減額	169,000	156,286	12,714	
	支払利息支出	3,496,000	3,493,043	2,957	
	その他の支出	12,257,000	12,167,007	89,993	
	事業活動支出計(2)		2,317,984,000	2,295,280,585	22,703,415
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		245,210,000	263,494,623	△18,284,623	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	29,838,000	29,838,000	0	
	固定資産売却収入	6,205,000	6,202,061	2,939	
	施設整備等収入計(4)		36,043,000	36,040,061	2,939
	支出	設備資金借入金元金償還支出	50,076,000	50,076,000	0
固定資産取得支出		61,828,000	60,691,927	1,136,073	
ファイナンス・リース債務の返済支出		863,000	862,212	788	
施設整備等支出計(5)		112,767,000	111,630,139	1,136,861	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△76,724,000	△75,590,078	△1,133,922	
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	47,772,000	49,286,286	△1,514,286	
	その他の活動による収入	25,000,000	25,017,500	△17,500	
その他の活動収入計(7)		72,772,000	74,303,786	△1,531,786	

村山苑 だ よ り

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
その他の活動による収支	支出			
	投資有価証券取得支出	25,141,000	25,140,500	500
	積立資産支出	195,932,000	195,927,536	4,464
	その他の活動による支出	60,000	141,200	△81,200
その他の活動支出計(8)		221,133,000	221,209,236	△76,236
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△148,361,000	△146,905,450	△1,455,550
予備費支出(10)		0	-	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		20,125,000	40,999,095	△20,874,095
前期末支払資金残高(12)		864,982,846	864,982,846	0
当期末支払資金残高(11)+(12)		885,107,846	905,981,941	△20,874,095

【法人名】 社会福祉法人 村山苑

(自)平成27年4月1日 (至)平成28年3月31日

事業活動計算書

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	介護保険事業収益	870,890,428	861,607,212	9,283,216
	保育事業収益	768,494,128	735,027,166	33,466,962
	就労支援事業収益	35,878,885	39,054,995	△3,176,110
	障害福祉サービス等事業収益	168,293,931	157,020,221	11,273,710
	生活保護事業収益	678,212,908	679,133,586	△920,678
	医療事業収益	9,079,867	9,373,692	△293,825
	独自事業収益	345,800	900,600	△554,800
	経営経費寄附金収益	3,417,654	6,393,867	△2,976,213
	その他の収益	5,436,958	2,412,480	3,024,478
サービス活動収益計(1)		2,540,050,559	2,490,923,819	49,126,740
費用	人件費	1,845,336,839	1,721,241,135	124,095,704
	事業費	330,531,120	339,974,405	△9,443,285
	事務費	160,436,524	176,357,381	△15,920,857
	就労支援事業費用	35,738,295	39,664,619	△3,926,324
	社会貢献事業費	137,178	61,854	75,324
	利用者負担軽減額	156,286	291,537	△135,251
	減価償却費	125,053,507	123,802,087	1,251,420
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△59,460,798	△60,549,959	1,089,161
	サービス活動費用計(2)		2,437,928,951	2,340,843,059
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)		102,121,608	150,080,760	△47,959,152

村山苑だより

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動外増減の部	収益			
	借入金利息補助金収益	2,835,348	3,934,136	△1,098,788
	受取利息配当金収益	435,700	1,691,045	△1,255,345
	その他のサービス活動外収益	15,453,601	15,530,865	△77,264
	サービス活動外収益計(4)	18,724,649	21,156,046	△2,431,397
	費用			
	支払利息	3,493,043	4,700,918	△1,207,875
	その他のサービス活動外費用	12,167,007	12,288,036	△121,029
	サービス活動外費用計(5)	15,660,050	16,988,954	△1,328,904
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	3,064,599	4,167,092	△1,102,493
経常増減差額(7)=(3)+(6)		105,186,207	154,247,852	△49,061,645
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	29,838,000	29,217,000	621,000
	固定資産受贈額	336,000	448,000	△112,000
	固定資産売却益	1,087,752	0	1,087,752
	特別収益計(8)	31,261,752	29,665,000	1,596,752
	費用			
	固定資産売却損・処分損	242,966	22	242,944
	国庫補助金等特別積立金積立額	20,316,000	19,695,000	621,000
	特別費用計(9)	20,558,966	19,695,022	863,944
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	10,702,786	9,969,978	732,808
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		115,888,993	164,217,830	△48,328,837
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	1,379,232,464	1,311,476,634	67,755,830
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	1,495,121,457	1,475,694,464	19,426,993
	基本金取崩額(14)			
	その他の積立金取崩額(15)	35,000,000	28,280,000	6,720,000
	その他の積立金積立額(16)	178,341,000	124,742,000	53,599,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	1,351,780,457	1,379,232,464	△27,452,007

財 産 目 録

平成28年3月31日現在

(単位:円)

I 資 産 の 部	¥ 4,865,658,930
II 負 債 の 部	¥ 590,286,871
III 差 引 純 資 産	¥ 4,275,372,059

村山苑だより

貸借対照表

平成28年3月31日現在

【法人名】 社会福祉法人 村山苑

(単位:円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	当年度末	前年度末	増 減	科 目	当年度末	前年度末	増 減
流 動 資 産	1,027,645,604	981,196,469	46,449,135	流 動 負 債	234,403,847	166,998,986	67,404,861
現 金 預 金	818,315,361	762,708,748	55,606,613	事 業 未 払 金	49,450,382	51,740,619	△2,290,237
事 業 未 収 金	189,399,046	183,650,738	5,748,308	そ の 他 の 未 払 金	960,212	282,204	678,008
未 収 補 助 金	13,097,054	22,996,695	△9,899,641	1年以内返済予定設備資金借入金	23,196,000	50,076,000	△26,880,000
貯 蔵 品	34,812	56,288	△21,476	1年以内返済予定リース債務	747,762	862,212	△114,450
仕 掛 品	109,578	152,849	△43,271	未 払 費 用	36,958,830	34,447,508	2,511,322
立 替 金	100,000	100,993	△993	預 り 金	17,559,662	13,702,987	3,856,675
前 払 金	220,296	153,736	66,560	職 員 預 り 金	16,624,999	15,887,456	737,543
前 払 費 用	6,369,457	11,276,422	△4,906,965	賞 与 引 当 金	88,906,000	0	88,906,000
その他の流動資産	0	100,000	△100,000	固 定 負 債	355,883,024	374,574,188	△18,691,164
固 定 資 産	3,838,013,326	3,759,004,569	79,008,757	設 備 資 金 借 入 金	148,311,000	171,507,000	△23,196,000
基 本 財 産	1,282,455,802	1,351,342,634	△68,886,832	リ ー ス 債 務	468,032	1,215,794	△747,762
建 物	1,282,455,802	1,351,342,634	△68,886,832	退 職 給 与 引 当 金	207,103,992	201,851,394	5,252,598
その他の固定資産	2,555,557,524	2,407,661,935	147,895,589	負 債 の 部 合 計	590,286,871	541,573,174	48,713,697
建 物	508,556,903	508,470,659	86,224	純 資 産 の 部			
構 築 物	15,636,735	17,164,719	△1,527,984	基 本 金	240,968,676	240,968,676	0
機 械 及 び 装 置	1,165,169	1,443,461	△278,292	第 1 号 基 本 金	240,968,676	240,968,676	0
車 輛 運 搬 具	166,747	6,394,614	△6,227,867	国庫補助金等特別積立金	1,022,161,346	1,061,306,144	△39,144,798
器 具 及 び 備 品	66,077,631	57,163,883	8,913,748	そ の 他 の 積 立 金	1,660,461,580	1,517,120,580	143,341,000
有 形 リ ー ス 資 産	823,094	1,214,066	△390,972	人 件 費 積 立 金	191,400,000	191,400,000	0
権 利	1,924,698	1,924,698	0	施 設・設 備 整 備 積 立 金 (措 置)	347,647,950	301,122,950	46,525,000
ソ フ ト ウ ェ ア	3,881,475	4,947,321	△1,065,846	都 施 設・設 備 整 備 積 立 金	172,466,680	168,776,680	3,690,000
無 形 リ ー ス 資 産	392,700	863,940	△471,240	施 設 設 備 整 備 積 立 金	71,800,000	36,800,000	35,000,000
投 資 有 価 証 券	25,140,500	0	25,140,500	人 件 費 積 立 金 (保 育)	171,450,000	171,450,000	0
退 職 給 付 引 当 資 産	207,103,992	201,851,394	5,252,598	保 育 所 施 設・設 備 整 備 積 立 金	467,483,239	374,357,239	93,126,000
人 件 費 積 立 資 産	191,400,000	191,400,000	0	都・市 保 育 所 施 設 設 備 整 備 積 立 金	8,339,575	29,288,965	△20,949,390
施 設・設 備 整 備 積 立 資 産 (措 置)	347,647,950	301,122,950	46,525,000	東 村 山 市 保 育 所 施 設・設 備 整 備 積 立 金	0	14,050,610	△14,050,610
都 施 設・設 備 整 備 積 立 資 産	172,466,680	168,776,680	3,690,000	移 行 時 特 別 積 立 金	206,494,937	206,494,937	0

村山苑だより

資 産 の 部				純 資 産 の 部			
科 目	当年度末	前年度末	増 減	科 目	当年度末	前年度末	増 減
施設設備整備積立資産	71,800,000	36,800,000	35,000,000	工賃変動積立金(就労)	1,892,934	1,892,934	0
人件費積立資産(保育)	171,450,000	171,450,000	0	設備等整備積立金(就労)	5,936,265	5,936,265	0
保育所施設・設備整備積立資産	467,483,239	374,357,239	93,126,000	授産時不況時保証積立金	9,122,265	9,122,265	0
都市保育所施設設備整備積立資産	8,339,575	29,288,965	△20,949,390	授産時機械設備積立金	6,427,735	6,427,735	0
東村山保育所施設設備整備積立資産	0	14,050,610	△14,050,610	次期繰越活動増減差額	1,351,780,457	1,379,232,464	△27,452,007
移行時特別積立資産	206,494,937	206,494,937	0	(うち当期活動増減差額)	115,888,993	164,217,830	△48,328,837
工賃変動積立資産(就労)	1,892,934	1,892,934	0				
設備等整備積立資産(就労)	5,936,265	5,936,265	0				
授産時不況時保証積立資産	9,122,265	9,122,265	0				
授産時機械設備積立資産	6,427,735	6,427,735	0				
差 入 保 証 金	17,226,300	80,000	17,146,300				
その他の固定資産	47,000,000	89,022,600	△42,022,600	純資産の部合計	4,275,372,059	4,198,627,864	76,744,195
資産の部合計	4,865,658,930	4,740,201,038	125,457,892	負債及び純資産の部合計	4,865,658,930	4,740,201,038	125,457,892

苦情解決第三者委員

任期 平成27年4月1日～平成29年3月31日

熊

谷

厚

野

田

敦

子

平成27年度苦情受付情報につきましては、ホームページにて公開しております。

福祉サービス第三者評価受審状況

村 山 荘	ごとの会	つ ぼ み 保 育 園	(株)地域計画連合
さ つ き 荘	(株)日本生活介護	ふ じ み 保 育 園	(株)地域計画連合
ハ ト ホ ー ム	福祉推進機構アシスト	ほ ん ち ょ う 保 育 園	(株)地域計画連合
ハ ト ホ ー ム 在 宅 サ ー ビ ス セ ン タ ー	福祉推進機構アシスト	ほ ん ち ょ う ケ ア セ ン タ ー	福祉推進機構アシスト
福 祉 事 業 セ ン タ ー	(株)日本生活介護		



職員研修

1	新人研修 平成27年3月30日(月)・31日(火) 村山苑職員としての心がまえ・村山苑の沿革・法人施設の見学・就業規則等の説明・社会人としてのマナー等	計14名	4	福祉サービス研修 平成28年1月22日(金) テーマ別研修で出された課題に向けての取組の発表	計48名
2	新人フォローアップ研修 平成27年12月8日(火) 上司が新人に言いたいこと、新人が上司に言いたいこと・4つの姿勢と2つの力、3つの学び・情報交換	計14名	5	看護師情報交換会 平成27年10月29日(木) 「感染症の予防と対策」	計7名
3	テーマ別研修 平成27年11月9日(月) 「高品質なサービスを提供するために、課題の発見そして業務改善へ」 講義: 島山施設長 / グループワーク	計53名	6	マイナンバー研修会 平成27年10月26日(月)・27日(火)	計27名

監査報告書

平成28年5月20日

社会福祉法人 村山苑
理事長 品川 卓正 殿

監事 長田 皓子 
監事 岡部 雅人 

監査報告書の提出について

私たち監事は、社会福祉法第40条及び社会福祉法人村山苑定款13条並びに経理規程62条に基づき、別紙の通り監査報告書を提出いたします。

以上

監査報告書

私たち監事は、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの平成27年度の事業年度に関して、理事の業務執行の状況及び社会福祉法人村山苑の財産の状況について監査いたしました。その結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法の概要

監事は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、各施設及び法人における業務及び財産の状況を調査しました。また、会計帳簿等の調査を行い、計算書類及び事業報告書につき検討いたしました。



さらに、村山荘、ハトホーム、さつき荘における、利用者預かり金残高と通帳その他の証憑突合及び利用者預かり金の期末残高について、残高証明書との突合を行ないました。

2. 監査の結果

- (1) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、貸借対照表、事業活動計算書及び資金収支計算書の記載と合致しているものと認めます。
- (2) 貸借対照表、事業活動計算書及び資金収支計算書は、法令及び定款に従い法人の財産、事業活動及び資金収支の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 重要な会計方針は記載のとおりであると認めます。
- (4) 事業活動報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を示しているものと認めます。
- (5) 理事の職務遂行に関する不整の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (6) 利用者預かり金に関する不正な行為又は法令に違反するような事実は認められません。

平成28年5月20日

社会福祉法人 村山苑

監事 長田 皓子 
監事 岡部 雅人 

新任職員より一言

村山荘

介護職員 寺崎英理子

村山荘に入職させて頂いて四カ
月が過ぎました。慣れない環境の
中で、少しでも一日でも早く馴染め
る様にと、施設長を始め、統括主任、

主任、副主任、職員の方々から温か
い励ましや催し、ご指導を頂きま
した。忙しい業務の合い間にそのお
一人、お二人の心遣いがとても有難
く、申し訳ない気持ちになる程で
した。村山荘にいる人達の持つ優し
さ、温かさに触れる度に、本当にこ
の仕事、この施設に來られて良かつ
たと思える日々を送っております。

加えて、施設に入つてまず目にす
る緑の多さ、施設内でお花見が出
来ること、美しい花を見ながら仕
事が出来ること、広い敷地、グラン
ド、建物が私の視界と心を広げて
くれる様な気が致します。

視界が広がる事で私の心の中に

ゆとりが生まれ、緑を見る事で深
呼吸が出来、今まで仕事中に窓の
外の景色など、見る余裕も無かつた
自分が、村山荘の満開の桜を、休憩
時間とはいえ歯磨きをしながら眺
めている、その様な時間がとても嬉
しく思えます。

村山荘の職員の人達は皆穏やか
で、心優しい方が多く、入荘されて
いる人達も自立されている方がほ
とんどで、静かに日々を送っている
印象を受けました。

これまでの社会福祉法人として
の役割、責任を担ってきた人達が築
かれてきたものを守り、村山荘に入
荘した人達の新たな人生を踏み出
せる担い手になっていける様、努力
を重ねていきたいと思っております。

さつき荘

介護職員 稲村 文子

今年の四月にさつき荘に配属さ
れた稲村です。

介護職に就いて早くも十五年に
なります。介護の事を何も知らず

に在宅ヘルパーから始めましたが、

ハトホーム

事務員 北村 貴則

思いもよらず色んなことが起こり
介護職自体を上辺だけで考えてい
た自分としては納得いかない事も
沢山ありました。こんなことで介
護職をやっているのだろうかとか
真剣に悩んだ事もあります。ヘル
パーの訪問回数を重ねて行くうち
に訪問が楽しくなり何となく自分
に自信が持て在宅ヘルパーを七年
半続ける事ができました。その後
養護老人ホームを勧められて七年
半勤務し、やりがいがあり楽しみ
も沢山ありました。まだまだ頑張
りたかったのですが定年で辞めざ
るを得ませんでした。そんな時受
け入れて下さったのが村山苑です。
配属がさつき荘で精神障害の方が
多い事と年齢が若い事で驚きまし
た。精神障害者の方と向き合う事、
それは今までにない経験です。職
員の対応の仕方を見て勉強になり
ます。利用者との関わりの中で不
安にさせず納得いく様に説明して
利用者ときちんと向き合っている
事に凄いなと感じました。自分も
そうなる様に日々頑張りたいと
思います。

はじめまして。二十八年度の四
月からハトホームで事務として勤
務する事となりました北村貴則で
す。早いもので、着任してから既に
五ヶ月が経とうとしておりますが、
これまでは、全く違う業界で働いて
いたという事もあり、新たに覚え
る事も多く、戸惑う事も多々ある
毎日です。しかしながら、周りを取
り巻く先輩や職員の方々のご指導
をいただき、日々勉強ですが少しづ
つ慣れ、業務に取り組んでおりま
す。特に、福祉業界には、様々な福
利厚生がある事に驚きました。そ
の仕組みを覚えていくには、まだ時
間がかかりそうですが、様々な研
修に参加する機会もいただいている
ので、着実に知識を身につけてい
こうと思っております。
一日でも早く、多くの現場の職員
の方々から頼られ、また、多角的な
視点でハトホーム全体を把握する
事務員になれるよう努めてまいり
ますので、今後ともご指導ご鞭撻
の程よろしくお願ひいたします。

ほんちようケアセンター

介護支援専門員 早川 利香

私は東村山市に幼少期から住み、生活してきました。馴染み深い地域の方々のお役に少しでも立つことが出来ればと思います、ケアマネジャーになるため訪問介護員として働きながら必要な知識を学び、無事に合格して入職できたことを大変うれしく思います。村山苑の一員として理念、基本方針を意識し、責任のある行動がとれるよう努力していきたくと思います。実際に働き始めると、これまで学んできたことだけでは通用しない様々な困難に出会うと思います。先輩方の助言をいただきながら、不安な気持ちを自信へ変えていくようにしていきます。以前働いていた職場とは全く異なる環境である為、初めて遭遇する事態や覚えるべき業務・用語が多く、手さぐり状態で学ぶ場面も多々ありました。利用者さんには居心地良く生活してもらうにはどうすれば良いか、そして業務を滞りなく行う為にはどうあるべきか等、自問自答の日々

です。業務に取り組むことが出来るのは、周りの方のご助力に他なりません。感謝の心を忘れずに、職場の仲間と足並みを揃えていきたくと思います。今後ともご指導宜しくお願いします。

つばみ保育園

調理員 村田 宏美

桜の咲く四月、つばみ保育園の調理員として入職し早四ヶ月経ちました。新しい環境と出会いの中で、毎日が忙しくあつという間でした。

人数が多い大きな規模の保育園で、お昼ご飯、おやつ、大人の分の食事と忙しい日々で、それに必死についていく自分であります。職場の皆さんは温かく、そんな私を励まし指導してくださり、助けられています。

育ち盛りの子ども達の食事作り、とても大切でやりがいのある仕事だと思えます。調理室はガラス窓で保育室側から中が見えるようになっていきます。毎朝手を振って

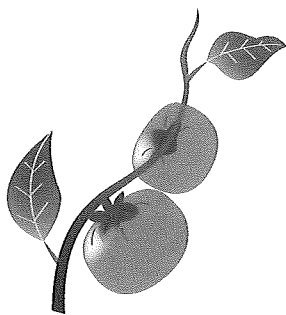
れる子ども達。「今日も美味しく作るからね。」と思い一日の励みになります。

つばみ保育園の給食は野菜が沢山です。ポリウムあり、見た目の彩りも綺麗。何しろとても美味しいです。良く食べる子ども達です。「おかわり下さい。」の声はうれしいです。

この夏は園庭の畑で沢山の野菜を収穫しました。ミニトマト、オクラ、ピーマンなど色鮮やかで美味しそうな野菜でした。食育が充実しているなあと感じました。

食べることに楽しい、大好きと思ってもらえるように、安全で美味しい食事を提供することを心がけていきたいと思えます。

まだまだ未熟な私ですが、子どもたちと共に「たくましく」成長していきたいと思えます。皆さんどうぞよろしく願っています。



ふじみ保育園

看護師 神田 布美

こんにちは、四月からふじみ保育園で看護師として勤務することになりました神田布美です。

ふじみ保育園に看護師として働き始め、早五ヶ月が経とうとしています。ふじみ保育園で働き始め一番に思った事は、園児皆が明るく元気があると言うことです。皆の元気に私自身もパワーをもらっています。まさに保育目標にもあつる「たくましく」と言う言葉が、とてもびつたりの保育園だとおもいました。

看護師として、保育園の子どもたちに「自分自身の身体(いのち)を守る」事が出来るように、いのちの大切さ、身体の大切さ、「元氣つていいな」と感じてもらえるように、保健活動を通じて伝えていこうとおもいます。その為にも保護者の方と連携をとり、懇談会や「ほけんたより」を通じて内容をお知らせし、共有することができればと考えています。

園児皆が、心も身体も健康に過

ごせるよう、看護師として日々の保健活動に従事して行きたいと思えます。

これから、村山苑の一員として頑張つて参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ほんちよう保育園

保育士 小川 慶太

ほんちよう保育園で働き始めて、四ヶ月が経とうとしています。私は子どもが好きで、何か子どもに関する事に就きたいという気持ちを抱き、子どもの成長、発達を一番近くで見られる保育士になろうと思いました。子どもと同じ目線になって、一緒に笑ったり、驚いたり、何かを作ったりと、子どもと共に感情や時間を共有できる仕事をする中で楽しいことばかりではなく、覚えなくてはいけないことや課題に対して必死についていく慌ただしい日々を送っています。毎日忙しく、楽しい事ばかりではありませんが、やりがいのある仕事だと

も思っています。

子どもたちと過ごす生活は、とても充実していて、気持ちに寄り添う支援をすることで、子どもの成長を感じ、喜びを感じています。特に、行事活動で子どもが主体となり、ほとんど大人の手を借りずに一つのものを作り上げた時にはとても感動しました。

この仕事は肉体的、精神的にもハードなことが多くて、子どもや保護者の方を支援していく中で悩むことや、壁にぶつかることがこれまで何度もありました。しかし、その度に先輩たちの助言に助けられここまでやってこられたと思っています。同時に専門学校を卒業して社会人としてスタートし、初めての職場がほんちよう保育園であつた私は、社会のルールや仕事をしていく上で大切なことも全てほんちよう保育園で学んだと思つています。私はこれからも、この責任ある職場の一員として自覚を持ちながら保育にあたり、自分に出ることや支援者としての視野を増やしていきたいと考えています。まだまだ保育者としてわからないな

いことが多く手探りの状態ですが日々勉強することを忘れず、子どもへの励んでいきたいと思つています。

どうぞよろしくお願い致します。

ひよし保育園

保育士 松本 千鶴

この春、大学を卒業し村山苑の職員として仲間入りをしてから、早いもので五ヶ月がたちました。私が配属されたのは、今年度から民間委託となつたひよし保育園です。配属先が発表された時は正直、「保育士として経験のない私が、民間委託される初年度という大切な時期に、この保育園で働くことができるのだろうか。」と、不安でいっぱいでした。

現場に入ると、分からないことばかりの毎日で、落ち込むことがたくさんあります。しかし、とても温かくパワフルで、キラキラ明るい先輩方の保育から、日々学ぶことは多く、充実した毎日を過ごすことが

できています。

今年度私が任されたクラスは五歳児クラスです。一年目に卒園児を出すことに不安もありますが、「子どもたちが三月、立派に卒園を迎えられるように」「四月、どんな二年生になるのかな」ということを、毎日考えながら過ごしています。

今はまだ先輩方、子どもたち、保護者の方々に支えられてばかりですが、一日でも早く一人前の保育士となれるよう、一瞬一瞬の保育を丁寧に、大切にこなしていきたいと思つております。



施設通信

夏祭り特集

合同納涼祭

村山荘

統括主任 井口 幹太

今年も七月二十一日(木)にさつき荘、ハトホーム、福祉事業センター、村山荘による合同納涼祭を行いました。この日、関東地方ではまだ梅雨明けしておらず、前日の天気予報では午前中まで雨で午後には上がって、気温もそれほど上がらないとのことでした。予報通りになれば準備の時間に雨は上がり暑くならない最高のコンディションで臨めると期待は膨らんでいましたが、見事に裏切られました。十三時半開始の準備を十四時に遅らせて始めましたが一向に止まず雨中、テント張り、提灯付けなど会場を作りました。結局グラントコンディションも考え、模擬店は販売したものの盆踊りは中止、アトラクションの和太鼓(東村山市婦人軽体操クラブ)、フラ

ダンス(村山荘音楽クラブ)は村山荘訓練棟で行い、恒例の花火も中止になりました。当日の判断で多くの変更があり、ドタバタ劇は続きましたが開始時間の十八時には、ほぼ雨も上がり心配された来場者も大盛況でした。販売した模擬店も多くのものが完売し、結果的には多くの方に喜んで頂けたと思います。

つぼみ保育園夏祭り

つぼみ保育園

園長 石井 司

七月二十三日(土)、つぼみ保育園第十五回夏祭りが開催されました。開催当日は天候にも恵まれ、地域の方々や卒園児を始め五百名を越える方々にお集まりいただき、盛大に開催することができました。

オープニングはくすのきクラス(年長)による豊年太鼓に始まり、盆踊り、保護者と職員によるソーラン節、そして締めくくりは民族歌舞団「荒馬座」の公演と、それぞれが例年にも増しての素晴らしいステージだった

と思います。きっと子ども達の思い出に残る夏の夜の良きひと時となったのではないかと思います。



ふじみ夏祭り

ふじみ保育園

保育士 矢部小百合
保育士 辻 里沙子

園主催の行事として、七月十六日に村山苑グラントにて夏祭りを行いました。子どもたちは、何日も前からお祭りに向けてお神輿作りをしたり、盆踊りや荒馬の練習など、お祭り当日を楽しみにしながら過ごしてきました。お祭り当日「ワッショイ」のかけ声で、子どもたちの山車、お神輿がスタートしました。

五歳児クラスは、オープニングで豊年太鼓を披露し、沢山のお客様の前で緊張しながらもふじみ保育園の代表としてお祭りを盛り上げてくれました。夜店は、子どもたちが楽しみにしていたことのひとつ、「コレクターサイ」と恥ずかしがりながらもお金を渡してくれる姿が可愛かったです。ゲームでは景品を貰うと、目を輝かせていた子ども達です。

最後は、会場にいた方全員で盆踊りと荒馬。太鼓の音に合わせて、子

どもたちが笑顔で踊る姿は微笑ましく、今年もお祭りを執り行う事が出来、良かったなと思う瞬間でした。保護者の皆様、また地域の皆様方のご協力があり、無事終ることが出来ました。ありがとうございました。

ほんちよう保育園夏まつり

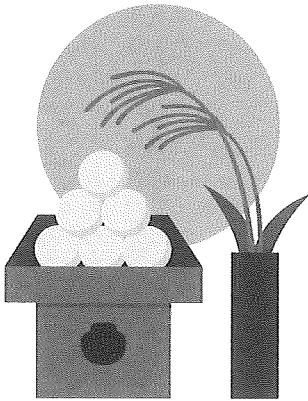
ほんちよう保育園

保育士 稲川 美夢

七月十六日(土)ほんちよう保育園第五回目の夏まつりを開催しました。

オープニングで担ぐおみこしを三、四、五歳児の異年齢クラスで製作するのですが、各三クラスで様々なドラマがありました。始めは五歳児中心に話し合いや製作が進んでいきますが、三、四歳児も五歳児の姿を見よう見真似で「僕も！私も！」と徐々に気持ち盛りが上がっていくのでした。トラブル発生の時は保育者の出番！ではなく、五歳児の出番！です。五歳児中心に進む製作中、「自分たちだってもっとやりたい！」と訴える

三、四歳児。五歳児は「皆にもやらせてあげよう。」と気が付き、近くでそつと見守ってあげます。また、五歳児が率先し、意見を言葉にしてまとめたり、相手の気持ちを考え、寄り添い、思いやりながら協力し合い、作りに上げたおみこしが完成した時の子どもたちの表情は喜びに満ち溢れていました。当日保護者の方の前で担いで「自分のクラスのおみこしが一番！」と、とても誇らしそうでした。また、五歳児による「豊年太鼓」、今年初の「荒馬踊り」を全員で楽しみ、更に盛り上がった夏まつりとなりました。模擬店ではたくさん保護者の方と子ども達が触れ合う姿を見ることが出来、子ども達にとつて思い出に残る夏まつりになったことと思います。



ハトホーム
ギャラリーの紹介

ギャラリーを開設して一年半が経ちました。写真、書、絵画等ジャンルを問わず、地域の方たちの発表・交流の場になればとの願いから開設しました。この間、地域の写真愛好家のグループを中心に三四〇作品が展示されました。入居者、職員が「これいいね！」と会話のきっかけにしている光景を目にします。また、「写真見せて



ください」と、地域の方たちが訪ねてくるなど、少しずつギャラリーが地域の方たちにも知られてきていることを実感しています。今後は、地域で活動されている方はもちろんですが、近隣の保育園、小中高校など幅広くお声をかけさせていただき、テーマごとの作品展示も検討しています。

まだまだ環境も不十分な小さなギャラリーですが、ぜひ一度足をお運びください。また、地域の個人、団体等ギャラリーに作品を展示・発表していただける方をご紹介ください。

お詫び

村山苑だより第五十二号
「平成二十八年永年勤続者表彰
勤続三十五年の保育士 笈川恵美」の所属が誤って掲載されておりました。
「ほんちよう保育園」に訂正させていただきます。
謹んでお詫び申し上げます。

認知症サポーター 養成講座のご案内

【日時】

平成二十八年十一月二十六日(土)

午後二時～三時三十分

【会場】

社会福祉法人村山苑

救護施設村山荘 訓練棟二階

東村山市富士見町二一七-五

【講師】

東村山市西部地域包括支援センター
岩原氏

【申込先】

救護施設村山荘 担当 長谷川

電話番号 042(391)1262

FAX番号 042(397)4609

または 村山苑が経営する各施設でも構いません。

【申込締切】

平成二十八年十一月十八日(金)

昨年に引き続き、今年度も「認知症サポーター養成講座」を開催いたします。講座では、そもそも認知症とは何かということから、認知症の方へ接するときの心構えなどを分かり

やすくお伝えします。受講された方には、「認知症の方を応援します」という意志の目印としてオレンジリングを差し上げます。もちろん参加無料です。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

村山苑が経営している施設

〒189-0024

東京都東村山市富士見町2-17-5

● 法人本部

☎042-393-8496

● むらやまえん生活相談所

☎042-313-0301

● 村山苑障害者計画相談支援室

(ぎせき) (特定相談支援事業所)

☎042-306-0874

● 村山荘(救護施設)

☎042-391-1262

● ハトホーム

(特別養護老人ホーム)

☎042-393-17574

● ハトホーム

在宅サービスセンター

☎042-398-2555

● 福祉事業センター

(障害福祉サービス事業)

☎042-395-3636

● ふじみ保育園(保育所)

☎042-394-9936

〒189-0024

東京都東村山市富士見町2-8-2

● さつき荘(救護施設)

☎042-396-2244

〒189-0024

東京都東村山市富士見町2-12-2

● つぼみ保育園(保育所)

☎042-393-6400

〒189-0014

東京都東村山市本町3-43-1

● ほんちよつ保育園(保育所)

☎042-399-2100

● ほんちよつケアセンター

(高齢者施設)

☎042-399-2102

〒185-0032

東京都国分寺市日吉町2-20-5

● ひよし保育園(保育所)

☎042-572-4175

■ あとがき ■

オリンピックも終わり日本選手の活躍も記憶に新しいところです。何か心にポツカリ穴があいたような…今年の夏は例年以上に暑く感じましたが、皆様夏バテ等してないでしょうか。

改正社会福祉法もあり、村山苑においても様々な変化に向けて、世の中の動向も注視しながら取り組んでいけたらと思います。

いよいよ食欲、スポーツの秋も近づき、過ごし易い季節になってきますが、夏の疲れが出てくる時季です。暴飲、暴食、怪我のないよう無理をしないように心掛けたいものです。(T.K)

本紙は本人同意のもとに写真・作品等を掲載しております。

* * *
ご意見・感想等お気付きの点がございましたら、左記へお寄せ下さい。

平成二十八年十月吉日 発行
東京都東村山市富士見町二一七-五
社会福祉法人 村山苑
発行者 品川 卓正
印刷所 東京都同胞援護会事務局
東京都墨田区両国四一-一八